

理事長 笠原慶一



# 患者負担金の引き上げにあたり 全国の仲間に訴える

今年10月から

## 全国協議会 ニュース

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者:野村 正満  
http://www.marow.or.jp/  
E-mail:office@marow.or.jp  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿支店  
普通 5666655  
注意! 変更になりました。

骨髄移植推進財団は、6月22日の理事会で患者負担金規程の改定を決定しました。10月から実施予定です。

全国協議会は、患者負担の解消と財団運営の健全化のために、骨髄液への保険適用の要望を一貫して行ってきましたが、近日中にも要望書を日赤の役割見直しの要望と合わせて提出する予定です。

以上の全国協議会の立場から、今回の患者負担金の引き上げには、反対せざるを得ません。また、過日私たちが財団を訪れ、改定に至る背景や今後の改革について説明(別記参照)を求めてきましたが、この問題の根本的解決には保険適用の実現

が急務です。

全国の患者・家族とボランティア関係者の皆さんが、患者負担の引き上げに反対し、保険適用の実現を求める要望を様々な手段で、財団と厚生労働大臣あてに寄せられるよう訴えます。

(要望先)

厚生労働大臣 坂口力殿あて  
(臓器移植対策室経由)  
東京都千代田区霞が関1-2-2  
FAX:03(3593)6223

骨髄移植推進財団理事長  
高久史磨殿あて  
東京都新宿区新宿2-13-12  
FAX:03(3355)5090

1. この間の財団の財政状況  
平成9年度以降、当期収支は毎年赤字になっている。そのため、8年度の繰越金(1億6千万円)は、12年度で6千万円台になっており、大変厳しい。

2. 患者負担金を値上げする前提として、財団の対策方針

(1)補助金の増額要望…現在の2億6千万円に対し、来年度は約2億円以上の上乗せを要望した。現状は厳しい情勢。

(2)医療保険の適用を要望…骨髄液に350万円の保険適用の要望を近日中にやりたい。国

が急務です。

全国の患者・家族とボランティア関係者の皆さんが、患者負担の引き上げに反対し、保険適用の実現を求める要望を様々な手段で、財団と厚生労働大臣あてに寄せられるよう訴えます。

(要望先)

厚生労働大臣 坂口力殿あて  
(臓器移植対策室経由)  
東京都千代田区霞が関1-2-2  
FAX:03(3593)6223

骨髄移植推進財団理事長  
高久史磨殿あて  
東京都新宿区新宿2-13-12  
FAX:03(3355)5090

### 患者負担金改定についての財団の説明(要旨)

3. 患者負担金の一部改定内容

(1)患者登録料(3万円)は廃止。

(2)コーディネーター料(10万円)は、コーディネーター基本料(5万円)と確認検査実施料(ドナー1人当たり3万円)を加えた料金に改定。

(3)ドナー健康管理等調査料(11万6千円)は、採取・移植調査料(10万円)とドナー健康管理等調査料(10万円)に改定。

(4)実施は、本年10月とする。

※以上の改定で、3人のドナーコーディネーターをした場合、現行の24万6千円が34万円になり、約10万円の増額になる。

厚生労働省の主催による関東甲越地区骨髄バンク事業関係者会議が、6月28日午後、厚生労働省講堂にて開催されました。同様の会議が7月6日に東海北陸、10日に北海道東北、23日に近畿、さらに8月2日に九州、8日に中国四国各地方地区ごとに開催されるものです。

出席者は厚生労働省臓器移植対策室、日赤本社血液事業部、骨髄移植推進財団のほか、都道府県、政令市などの地方公共団体、各地血液センター、更に全国協議会加盟の各地ボランティア団体が勢揃いしての大会が顔をぶれとなりました。

この会議では、主催者の臓器移植対策室から、今後のドナー登録者確保に向けて「移動献血併行型ドナー登録会の推進について」と題しての提案がありました。沖縄で大きな成果をあげているいわゆる沖縄方式を全国展開したいので、関係者への協力依頼が、会議の主たる目的です。

国の呼びかけで、ドナー登録推進の具体的な展開というこれまでにない姿勢ですが、問題点もたくさんあります。まず、今回の登録推進計画については、予算的な根拠がありません。厚生労働省は財団が地区普及広報委員を全国協議会の協力を得て60名から100名に増員し、同様に説明員を現状の95名から300名に増員するとしています。予算的裏付けをしていますが、地方にあっては、ボランティア団体が現場でこの作業を行うことになりませんが、地区普及広報委員ならば実費が財団から支払われるから、地区普及広報委員を中心にこの計画を進めよ

## 各ブロックで厚生労働省が主催 骨髄バンク事業関係者会議

7月15日・全国協議会事務局  
第14回 理事会報告

うという厚生労働省の腹案です。そこには、ボランティアに頑張ってもらいたいというのが本音でしょう。ボランティア団体がこのまま突っ走っても、どこまでやれるかも問題です。やはり、この事業は仕事として責任をもって行ってもらわないといけないと思います。そのためにも、日赤にもっと責任をもって中心的に担ってもらうなど、事業全体の役割分担の見直しが必要

要でしょう。やはり、予算的裏付けが重要でしょう。来年度予算の概算要求がこの8月にありますが、来年度には盛り込んでもらうことが重要ではないでしょうか。

(野村)

●加盟 退会・後援等の承認について

●賛助会員制度について

●佐藤きち子運営規程について

●グッズ作成について

●理事の役割分担について

●NPO全国フォーラム2000 1 東海会議について

●ブロック別推進会議について

●小冊子増刷について

●女子プロゴルフ ヴァーナルオープンについて

●ボランティアセミナーについて

●財団との懇親会について

●ボランティア大会決算報告

●情報誌について

●白血病患者支援募金箱報告について

●報告事項

●要望書について

●所轄庁への事業報告等の提出

### 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

### 骨髄バンクNOW

●「ドナーに内出血による後腹膜血腫が形成された」事例の調査報告発表  
昨年9月、琉球大学において骨髄採取されたドナーの方に「大量の内出血があり、後腹膜血腫が形成された」という有害事例の調査報告と対応策について、7月11日、財団より発表がありました。

財団の調査では、原因を特定することはできませんでした。しかし、財団では右後腹膜部位血腫の形成は、骨髄採取針により、採取部位である腸骨の奥にある腸腰筋部位を走行する血管を傷つけたことによるものと思われる、採取針が腸骨を貫通したためか、腸腰筋の隙間を抜けたためかという考えられると推定しました。

そこで、今回事例の直接原因であるかどうか結論できないものの、発見された危険要因を検討したうえ、同様事例発生時の未然防止の観点から、全国の骨髄バンク認定施設に対し、次の4点を通知し対策を講じることになりました(発表文は、財団ホームページに掲載 http://www.jmdp.or.jp)。

I 採取担当者と採取責任 骨髄採取は、骨髄採取責任者の管理監督のもとで、十分にトレーニングを積んだ担当者があたる必要があります。採取施設認定基準として採取責任医師を明記することとした。

II 採取手技についての認識と教育の問題 財団と厚生労働省研究班が関連学会と協力して「骨髄採取手技マニュアル」を作成するための作業を行うこととした。

III 骨髄採取針に関する要因 より安全な採取針の開発を目的とした調査を開始することとした。

IV 麻酔時の体動(バックギング)について バックギングとの関連性は低いと考えられるが、バックギングにより採取針が深部に到達する懸念を認識し、麻酔の深度に留意する必要性を周知することとした。

●7月5日、キャンペーンサイト「ドナーズネット」オープン  
骨髄バンクキャンペーンサイト「ドナーズネット」が、7月5日、オープンしました。著名人インタビューは、骨髄バンクのボランティア活動に関わり続けている東ちづるさん。ご自身のボランティア観について語っています。また、同サイトの編集担当者が「ドナー登録」を実際に体験したレポートも掲載。開設から10日間のアクセス数は1万件に達しています。(http://www.donorsnet.net)

●ドナー登録会を月間30回実施  
6月のキャンペーン登録会は30回実施され(うち献血並行型20回)、合計503人の方にご登録をいただきました。ドナー登録者の月間実質増加数は1047人となり、8カ月ぶりに1000人を上回りました。

●財団の事業報告、決算報告を承認。理事会、評議員会の開催報告  
6月22日(金)、当財団の定例理事会、評議員会が弘済会館(東京・麹町)で開かれ、平成13年度事業報告、決算報告などが審議さ

れ承認されました。なお財団財政は、3カ年連続の単年度収支赤字となりました。

●舞台「友情」名古屋で1カ月ロングラン公演。8月11、12日はロス公演  
「友情-Friendship-秋桜(コスモス)のバラード」の名古屋での1カ月ロングラン公演が行われます。8月3日(金)～8月27日(月)、中日劇場で計48回公演が予定されています。(一般:5000円、高校生以下:3000円)お問い合わせは中日劇場 電話052-263-7171(代表)まで。

愛知県では、この「友情」公演に連動した形で、8月に各保健所で10回の友情応援ドナー登録会を開催します。また、8月にはこの物語の元となる実話があったアメリカでも公演が行われます(8月11日、12日、ロサンゼルス市)。11月には台湾公演もあり、国際的な広がりが期待されます。

●データコーナー (6月末現在) \*4半期ごとに掲載  
I 国際協力事業の状況(1997年4月～2001年6月)(依頼元→依頼先)  
例:日本から米国へ登録し、米国から提供を受ける場合 日本→米国 日本→米国 予備検索523件(適合364件)、登録296件、移植78件(4月2件、5月1件)  
米国→日本 予備照会1115件(適合62件)、登録89件、骨髄提供2件  
日本→台湾 予備検索359件(適合70件)、登録124件、移植14件(6月1件)  
台湾→日本 予備照会1件(適合0件)、正式登録1件、骨髄提供の実績なし  
日本→韓国 正式登録94件(適合14件)、移植5件(6月1件)  
韓国→日本 正式登録228件(適合83件)、骨髄提供36件(4月1件、5月2件、6月1件)  
その他の国→日本 正式登録173件、提供累計8件(香港4、英国2、オランダ1、オーストラリア4月1)

II 骨髄バンクを介して、2回以上骨髄提供された方 ……………23人

III DLI(ドナーリンパ球輸注。DLTとも呼ばれる)療法の実施件数 ……………17人

●日本骨髄バンクの現状(2001年6月末現在)

	6月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,527	138,402	167,747
患者登録者数	141	1,557	11,037
骨髄移植例数	62	—	3,448

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

# 心からのご寄付を ありがとうございました

6月26日～7月23日

切明蹊	現金	20,000円
松浦睦	現金	500,000円
(株)竹中工務店有志一同	現金	7,916円
ジーストア株式会社	現金	51,000円
浅井みえ子	現金	3,000円
鈴木純子	現金	1,680円
匿名	現金	1,600円
サクライコウジ	現金	30,000円
山口幹夫	現金	4,359円
陣内陽一	現金	1,000円
匿名	切手	1,142円
村上順子	現金	580円

### ●佐藤さち子患者支援基金

切明蹊	現金	20,000円
飯澤雄三	現金	50,000円

(敬称略)

### 活動資金の援助をお願いします

銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

http://www.geestore.com



6月17と18日、さくらんぼの里・山形でフェニックスと

### 山形 フェニックスと さくらんぼ

また、8月5日には、大谷貴子さん、福島志賀としえさん、旭川の幸田久平医師を招いた講演会も開催します。(柴田)



あいちちゃんを抱いた大泉さんを囲んで

それにしても、皆さんの病気に對する前向きな姿勢に感心しました。勉強になりました。ありがとうございます

奈良 骨髄 献血の和を広げる会では、新潟の骨髄バンクを育てる会のご協力であさがおの種をたくさん送っていただきました。6月2日

### 奈良 あさがおと感想文

7月10日の火曜日、ジャスコ小山店で小山北ライオンズクラブ主催の移動献血車による定例献血会に、ドナー登録併行型キャンペーンを実施しました。栃木県では初の試みです。

### 栃木 栃木初! 並行型キャンペーン

(小野寺)

大分 自衛隊駐屯地で登録会

### 大分 自衛隊駐屯地で 登録会

7月11日、雨、気温は32度、温泉地別府の陸上自衛隊別府駐屯地体育館で集団登録会を開催しました。隊員たちの善意に満ちあふれた積極的な姿勢に接し、改めて命の重さを痛感しました。

**GET POWER! Regain!**

肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に 成人(16才以上) 1日1回1本。  
J-リゲイン 100ml・194円 / リゲインA 50ml・500円 / リゲイン 50ml・291円 (医薬部外品)  
価格はすべてメーカー希望小売価格(本体価格) http://www.sankyo.co.jp/healthcare/

東京 ショッピングセンターで62人の登録



別府地区ボランティアをはじめ各地区の協力でわずか90分という時間内に13名の受付、12名の問診、10名の登録ができました。

「あやちゃんの贈り物展」22日にはドナー登録会が行われました。

「あやちゃんの贈り物展」22日にはドナー登録会が行われました。広い広い店内でチラシで呼びかけを行い、予約8人のところ当日受付を含めて62人の方がドナー登録しました。

# チャリティー・インターネットオークション開催

アイドル系からゲーム／アニメ系まで幅広い品揃えでインターネット上のショッピングモールを展開するジーストア株式会社、骨髄バンクチャリティーオークションを逐次開催し、当協議会にご協力をいただいています。これまでに、ミニスカポリスの衣装や漫画家の松本大洋氏のグッズ等を出展し、落札金額を寄付されています。今後も様々な商品を提供くださるようです。ぜひホームページをご覧ください。

さて、5周年を迎え「あやちゃんの贈り物展」を開催することになりました。あやちゃんには、平成8年の創設時にも、お父さんと一緒に帯広に来てもらいました。以来、3度目の来帯です。

長崎屋での初日には、年配の男性から「あやちゃんには本物の天才だね」という言葉がありました。これからはあやちゃんと大勢の市民との出会いをコーディネートしたいと思えます。応援をお願いします。

大泉逸郎さんは旅館にかけつけ、おひとりおひとりに声をかけ、握手をして励まして下さいました。息子さんの「オヤジは来れないかも……」の言葉で、落胆していた皆さんも大感激でした。翌日、さくらんぼ農園の特設舞台で「孫」を熱唱する、つなぎ姿の大泉逸郎さんに熱い視線が集中したのはいうまでもありません。

天理市内の小学校では、学級単位で「あさがお」を育てており、先日の奈良新聞で紹介されました。県下の各市町村の学校で上映会が開催できるよう、会員一同頑張っています。(近藤真規)

別府地区ボランティアをはじめ各地区の協力です。受付で「40～50分くらいかかりますが」という言葉に、チラシを手にして「前から登録したいと思っていたので……」という方や、時間にか説明員の話に夢中になり、不明点を熱心に質問して大幅に時間をオーバーする方など登録者の大半が20代、30代前半という若い世代主体の登録会でした。(野口)

「あやちゃんの贈り物展」22日にはドナー登録会が行われました。広い広い店内でチラシで呼びかけを行い、予約8人のところ当日受付を含めて62人の方がドナー登録しました。